

と言ふた、言はぬで押問答を繰り返し、緊張して居つた新聞記者を苦笑させた。

◎印刷費問題

村越會計主任より毎年各印刷所から見積りを徴し最も安い所と契約するので高い事はな
い。

と答ふるや聯盟より其印刷所名の明示を求め

民潮社、明輝社、大木印刷所其他と答え、

聯盟側はスカサズ、吾々は今明示された各印刷所につき調査したが民潮社が最高の見積
りを出して居るではないかと詰れば、都竹氏は

安いばかりが能ではない、確實で信用の在る印刷技術の優秀な所を選定せなくてはなら
んと民潮社を神戸市に於ける最も確實にして技術優秀なる印刷所なりと裏書した。

兎角する中、聯盟の北川氏から定款二十三條に依り理事者に對する不信認動議が提出さ
れ、都竹、佐藤の朝野両辯護士に依り法律的論争の後に理事者側の反對を斥け議長は此動
議を採擇し、事業及會計報告承認と此動議に對する賛否を一括採決する旨を宣じた。時に

午後拾壹時半

シカルに採決に重大なる關係を有する委任狀の調査未了のため指名点呼に依り採決を試
みたるも既に退席者あるを以て、記名投票を行ひ出席者の有する委任狀數を加算して賛
否の決定をする事になつた。

此時聯盟側から理事者不信認賛成者はコソチへ集まれど、叱呼する聲に應じて會衆は大
河を決するが如き勢を持つて會場の一方に集結し、三百三對三十九の結果となつた。

勿論此三百三票は聯盟側の人々のみではない、是々非々を以て出席した會員の全部が之
れに加はつた結果である。

何故に斯かる結果を來たしたのであらぶが、終始詭辯と曲辨を弄じ、會員大衆を愚弄した理
事者側の不誠意が會場の夫衆をして斯くあらしめたに過ぎぬ。

爾後大きな波瀾もなげ午後貳時半散會となつた。以下は私の眼、耳及第六感に映じた兩者の動向其他である。